

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		08 02 04	中期総合計画主要施策番号		2-02,5-05		担当課	部・課	観光部 観光振興課	
事業名		外国人旅行者戦略的誘致推進事業				内線		3533		
						E-mail		kankoshin@pref.nagano.jp		
事業の概要等	事業の目的	諸外国・地域の特性に応じた戦略的な誘客活動を展開し、本県を訪れる外国人旅行者数の増加を図るとともに、外国人旅行者が県内での滞在を十分満喫でき、観光地の正確な情報を入手できるような受入基盤の整備を進める。								
	事業の必要性	[現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)] ・国内旅行市場が伸び悩むなかで、国際観光市場の成長が期待されているが、国際的な知名度は必ずしも高いと言える現状にない。 ・外国人旅行者が県内の滞在を十分満喫でき、観光地の正確な情報を入手できるような受入環境の整備が必要。 [原因分析(ギャップが発生している原因は何か)] ・消費者(旅行者)を対象とした知名度向上への取組みや観光資源・施設や交通等に関する海外旅行代理店・メディアへの情報提供が十分ではない。 ・外国人旅行者が安心して快適に県内を旅行できるような環境整備(ソフト、ハード)が十分ではない。 [課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)] ・効果的なPR手法を採用し、消費者(旅行者)に対して長野県の知名度向上を図るとともに、海外旅行代理店やメディアを招聘し、観光資源・施設や交通等の情報を提供することで、長野県をルートに組み入れた商品造成を促進させる。 ・研修会開催により観光産業従事者等の意識改善や技術向上を図るとともに、外国語サイトの改訂等により情報入手の容易化を図る。								
	事業内容	対象国・地域別のPR戦略立案 観光商談会、説明会等の開催(海外・国内) 海外メディア、旅行エージェント等の招聘事業の実施 海外観光物産展におけるPRの実施 観光産業従事者向け接遇向上研修会の開催 長野県公式観光外国語サイトの改訂 通訳ボランティアガイド向け研修会開催 外国人旅行者の受入環境の整備に関する研究会開催と報告書取りまとめ								
	実施期間	H14 ~		根拠法令等		「観光立県長野」再興計画				
	成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)		達成状況		評価		
	外国人旅行者の誘客を図るとともに、外国人旅行者が安心して快適に県内を旅行できるような環境を整備する。		・観光商談会、説明会等(海外・国内)を15回程度開催すること。 ・海外メディア、旅行エージェント等の招聘事業を30回程度開催すること。 ・外国人旅行者の受入環境の整備に関する研究会開催と報告書を取りまとめること。		・観光商談会、説明会等を18回開催した。 ・海外メディア、旅行エージェント等の招聘事業を29回開催した。 ・外国人旅行者の受入環境の整備に関する研究会を4回開催し、報告書を取りまとめ公表した。 (参考) 訪日外客数は、平成19年は8,346,969人、平成20年は8,350,835人であり、前年比100.05%であった。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下			
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要			
	最終予算額 (A)		千円	28,000	38,118	36,411	国庫・県単	国庫・県単		
	決 算 額 (B)		千円	26,380	37,566		実施方法	直接、負担金		
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	26,380	32,566	29,873	歳出節別内訳等	・報償費:132 ・旅費:2,977 ・委託料 5,250 ・負担金 29,207		
	概 算 人件費		人	1.00	2.50	2.50	(単位: 千円)			
	従事する職員数		人	1.00	2.50	2.50				
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績			
	海外マスメディア招聘事業		回	14	12	11	・その他国内外のPR活動:18回 ・公式観光外国語サイト改訂(4言語) ・外国人旅行者の受入環境の整備に関する研究			
	海外旅行エージェント等招聘事業		回	21	17	15				
	海外プロモーション事業		回	16	18	18				
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明							
	事業のニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明	・外国人誘客に対する観光事業者や市町村の期待度は高く、事業ニーズは増加していると判断される。 ・毎年対象国や誘客手法を見直すなど有効性や効率性を高める余地がある。				
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり						
	有効性を高める余地	余地なし	当面余地なし	余地あり						
	効率性を高める余地	余地なし	当面余地なし	余地あり						
課題の総括		・長野県を訪れる外国人旅行者を増加させ、地域の観光産業の振興を図ることへの地域の期待は高く、かつ、誘客のためには広域的な観光ルートを提案していく必要があるため、当面の間、県が関与していく必要がある。 ・県としては、外国人旅行者の誘客に取り組む市町村及び事業者と連携して、諸外国・地域の特性に応じた戦略的な誘客活動を展開するとともに、外国人旅行者が安心して快適に県内を旅行できる環境の整備を進める必要がある。								